

## 地域で支えあうまちづくり懇談会

(H30.1.30 三雲まちづくりセンター)

### 「A グループ」

#### <一人暮らしの不安>

- ・一人暮らしになったとき、食事の準備に困る
- ・高齢化率が高い
- ・今は元気だけれど、一人になったとき生活は安心して暮らせるだろうか？不安になる
- ・現金管理に困る
- ・日常の会話相手がいない
- ・市の出先機関が減ってきている、高齢者には不便になっている
- ・高齢者の集まれる場所（無料開放）がない、(ランチ食べる所など) 徒歩移動で(近隣過ぎて嫌だ) 自治会単位

#### <市の収入>

- ・市の収入が減少すると、どんどん地域に仕事を押し付けてくる

#### <自治会>

- ・まち協、自治会の役員のなり手がいない
- ・自治会での出ぼけ（クリーン）の場合、若い人が少なく我自治会では無理なのに河川が入っている
- ・自治会加入率が低くなって自治会の維持が困難
- ・自治会役員になってもらえる人がなくなる

#### <災害>

- ・防災倉庫の物で区全体が何日もつのか不安である
- ・災害時にまちセンまで徒歩で逃げられない人が多い
- ・災害時の避難が出来ない

#### <個人情報>

- ・個人情報をどこまで公開するのか（避難行動要支援者を依頼する場合など）

#### <車の運転>

- ・車の運転ができなくなったら病院に行けない
- ・高齢者へのタクシー代を
- ・運転免許証返納した後、買い物に行きたい場合、交通の便が、家の近くで降車しないと、荷物を持って歩けない
- ・湖南市の巡回バスの回数が少ない
- ・車の運転が出来なくなったら買い物が出来ない
- ・病院、買い物に行く手段に困る
- ・高齢者一人住まいの場合、免許を返納したとき
- ・車が無いと動けない

#### <施設、店、病院>

- ・歩ける範囲に店がない
- ・文化的なもの、例えば図書館などに出かけられなくなったら、移動図書館を利用することになるが、もう少し移動図書館の会館場所を細かに
- ・スーパーが近くにない

- ・専門の病院がない
- ・買い物をするのに近くにないので困る

<子供>

- ・いじめはどこまで、じゃれあいはどこまで
- ・孫たちがいじめにあわないか心配
- ・子供の育て方は？
- ・発達障害者の支援

<道路環境>

- ・体力が落ちてこけたら困る
- ・ハイコロジーに街灯が少ない
- ・健康推進で歩くことを進めるものの適切で安全な歩道がほとんどない
- ・孫たちが学校に行くのに安心して通学できるか
- ・県道の通行量が多く、危険

## 「B グループ」

### <交通手段>

- ・買い物に行きにくい人がいるが、隣近所で助け合っている
- ・地域でのサロン（サークル活動）は耳にするが、そこまでの送迎がない
- ・高齢の方の足の確保（買い物、医者通い）
- ・足がないのに買い物に行くのが大変
- ・医院が遠くなった
- ・巡回バス使い切れない、バス停まで歩けない、買い物、病院へ行きたい
- ・今後買い物できる店舗が近くにないので大変だと思う
- ・我団地の高齢化が進み交通手段に困る

### <コミュニケーション>

- ・高齢社会で独居、老々世帯をいかに支えるか
- ・高齢者の話し相手がいないための孤立化
- ・介護が必要、しかし介護力がない、金もない、どうするか？
- ・一人暮らしの方の出かけていく場所（話し相手）
- ・生活支援サポーターをしているがどこまですべきか
- ・老夫婦2人所帯が多くなり、笑い声が少ない
- ・近所に気になる家があっても声かけづらい、しばらく姿見かけない
- ・一人暮らしの方への支援？

### <健康づくり>

- ・健康については各人の意識の差が大きいと思う
- ・人生 100 年時代を健康に過ごすには

- ・いきいき体操や健康推進員の活動に出て来て頂くにはどうすれば良いか
- ・病院にかかる程ではないが、身体の不調を感じている人は多い
- ・いきいき 100 歳体操に三雲まちづくりセンターに 30 人ぐらい来てもらった

### <ネットワーク>

- ・夫婦介護力低い介護協力得られる人が近くにいない
- ・地域のサロン同士の横のつながりが少ない、情報交換したい

### <高齢化への不安>

- ・介護入所を考えるが高額だ
- ・医療費
- ・福祉施設
- ・病院へ行くのに介護タクシーも一般タクシーも何度も通うと費用がかかる

### <少子化、若者に魅力ある地域作り>

- ・休みの日に子供の声あまり聞こえない（習い事、スポ少、レジャー？）
- ・少子化、結婚していない人が増えている
- ・子供の教育に熱心な人が多い
- ・家の居心地が良い、別居が多い
- ・相手を選びすぎる、うわさが多い

### <個食問題>

- ・個食が増えている、学校、部活、塾、仕事など時間が合わない

### <自治会問題>

- ・独居の方への付き合い方、深すぎてもと考えてしまう
- ・老人が笑うことで地域が明るくなる

- ・自治会に加入しない又は脱退者が出る現状をどうするか
- ・健康な体を持っているのに無職の人が増えている
- ・隣同士が気軽に付き合えない
- ・空き家があるが朽ち果ててはいない、定期的な掃除や手入れを親戚等がしている
- ・希薄化した近隣関係を取り戻すには（向こう3軒両隣の良き関係作り）

## 「F グループ」

### <地域運営>

- ・区役員の選出に問題
- ・自治会の運営
- ・情報が入りにくい（自治会の加入）
- ・空き家の増加、更地にできない（福祉とは外れる）

### <交通手段>

- ・イベントなどあっても行けない
- ・高齢者の自動車運転（移動手段）

### <つながり>

- ・引きこもり、すぐには出て来られない、外に出ないのでサービスなどにつながりにくい
- ・避難行動支援者の支援のやりかた
- ・介護保険の利用するために手間がかかる
- ・アパートの増加、顔も名前も知らない人たちが増えている

### <子育て>

- ・子供を地域で育てるから逆行する社会
- ・経済的に不安定な中で、出産、育児をしている世帯がある

### <単身世帯>

- ・湖南省の 20～30 年後の人口、その中で、一人暮らしの世帯がますます増加します（60%）近所付き合いが希薄の中で、一人で悩むことになるので、今から若者とともにグループや何かのボランティアへ参加できるようにしていきたい
- ・高齢単身世帯で地域とのつながりが持ちにくい

- ・高齢者一人暮らしの見守り
- ・高齢化の進行が加速されるのに追いつかないのでは？
- ・高齢一人世帯の連携、確認
- ・一人住まいの高齢者の不安、独居化、行動が制限される

### <外国人>

- ・外国人率が高い、高齢化したら心配（ことばがわからない人）、社会的孤立
- ・外国人と住民との付き合いが少ない
- ・外国人は健康にあまり関心がない→健康診断を受けているか不明、高齢になって病気多発

## 「G グループ」

### <近所付き合いが希薄>

- ・お互いに助け合うという気持ちが薄く、難しい社会である
- ・若い入居者が自治会に加入しない
- ・近所付き合いが希薄
- ・アパート入居者の顔が見えない
- ・区、自治会の役員等なり手がいない、区入り脱退の増加

### <高齢者>

- ・高齢化世帯が自治会役員を辞退
- ・買い物に行くことが出来ない方がいる
- ・認知症の早期発見
- ・河川愛護、障がい等、少子高齢化対応、雇用不可
- ・一人暮らしの世帯が把握できない
- ・介護している家族が大変苦勞されている
- ・高齢夫婦世帯が増加し、色々な課題解決に取り組む人が少ない
- ・高齢者の独り暮らし
- ・人と人のつながりが希薄になっており支え合う状況が少ない
- ・お金の管理が出来なくて困っている
- ・高齢者世帯が多い
- ・高齢者の世帯に勧診にくる人がいる
- ・独居老人の生活支援（限界あり）
- ・自宅内の細かい雑用が出来なくて困っている
- ・高齢者に対しての支え
- ・灯油の買い出しや、ストーブへの給油に困っている

### <情報共有化>

- ・個人情報

- ・自治会、民生委員、役所等横のつながりが少ない

- ・情報の共有化ができていない

### <環境>

- ・小学生の安全な通学路
- ・空き家対策、災害時（火災、地震、風水害）
- ・バリアフリーがほとんどない
- ・通学時に車の量が多い
- ・車道と歩道の区別がない

## 「H グループ」

### <災害>

- ・災害時、避難場所が遠い
- ・防災無線が聞こえてこない
- ・台風のとき避難所移動に困る
- ・災害時の情報

### <人とのつながり>

- ・自治会加入率が低い
- ・地域の助け合い、声かけ
- ・アパート、マンションの居住確認は
- ・夏見会館があるので協力して活動が出来る
- ・人とのつながりが希薄です
- ・近所の間での挨拶が少なくなっている
- ・母子、父子家族の子供たちと触れ合う機会がなく実態がつかめない
- ・民生児童委員を増やし高齢者とのつながりを保つことが出来る
- ・気軽に他人の家に踏み込む勇気がない
- ・福祉を利用活用していた人が気軽に行ける雰囲気はどうなのか
- ・私自身、民生委員1年で未だ何が大切で具体的な役割が分かっていない

### <子供>

- ・町内の子供が少ない（少子化）
- ・子供が少なく遊び相手がない
- ・防犯対策、特に小学生の登校時はグループで対応していたが、下校時は車の迎えが多いよう

### <交通移動手段>

- ・移動手段（車など）が将来不安
- ・公共の交通機関が少ない

- ・「めぐるくん」の台数、回数が少ないようだ、利用率の関係もあるが
- ・車が無いと運転出来ない高齢者の運転者が多い
- ・高齢になっても車を運転せざるを得ない（公共交通）
- ・山道の道路が狭く危険である（特に高齢者、児童）

### <高齢者>

- ・高齢者一人世帯が多い
- ・高齢者のみの世帯が多い（家族が離れている）
- ・老人が出かけない、一人暮らしの方も行事に参加しない

### <一人暮らし>

- ・一人暮らし、単身世帯
- ・一人暮らしの方の安否
- ・隣が一人暮らし（60歳代、男性）で心配
- ・若い人たちが家から離れ、別々に住居を設けている、一人暮らし（高齢者）が増加する
- ・一人暮らしの人、子供からの連絡もあまりない
- ・未婚の息子と両親の世帯
- ・認知症の理解

### <空き家>

- ・空き家の増加
- ・空き家が多くなってきている